

京都産業大学 神山天文台 天文学講座

全国同時七夕講演会*

2018

第2回

火星移住と その先にあるもの

今年の夏に大接近を迎える火星。昔から、火星をはじめとして私たちの想像をかきたて続けてきた赤い星ですが、各国の探査機により研究が進んでおり、最近では移住すら真剣に考えられるようになりました。そこで、火星移住を考えることを通じて、火星がどんな星なのかお話しします。また日本の将来惑星探査計画についても触れながら、火星だけでなく太陽系天体を研究することの意味を考えたいと思います。

講師紹介

なかくし たかし
中串 孝志 氏

和歌山大学 観光学部准教授
国際観光学研究センター研究員
(Space & Mobility ユニットリーダー)

1975年大阪府生まれ。京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻博士後期課程卒業。博士(理学)。専門は惑星気象学。現職着任後はジオツーリズム、宇宙観光なども手掛け、現在は金星探査機「あかつき」データ解析の傍ら、観光情報学的アプローチを用いたジオパークの研究も進めている。



2018 **7/21** 土

15:00 - 16:30

京都産業大学 神山天文台
地下1階 神山天文台ホール

夜間は天体観望会を開催します(19:00~21:00)。

※悪天候時は宇宙の3D映像上映会を開催

入場無料・予約不要

*全国同時七夕講演会は、7月7日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と天文教育普及研究会との共催事業として、神山天文台が実施するものです。

対象 小学校高学年以上の方

主催 京都産業大学 神山天文台 共催 日本天文学会 / 天文教育普及研究会

後援 京都市教育委員会

その他 講座終了後には「アストロノミー・カフェ」(16:30~17:30)を開催します。
お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。

問合せ 京都産業大学 神山天文台 ☎ 075-705-3001 🌐 <https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>



むすんで、うみだす。
京都産業大学